

取扱説明書

SANYO

液晶プロジェクター

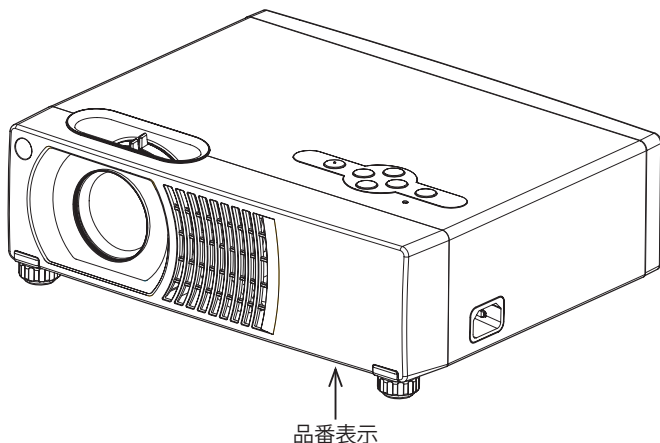
品番 LP-WXU10

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。とくに4～14ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになったあとは、保証書と併せて、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。わからないことがあったときなどにお役に立ちます。

お買い上げ商品の品番は底面の表示でご確認ください。

保証書は必ずお受け取りください



取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（ ）内の記号が色記号です。

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

LP-WXU10 の特長

[高精細]




- ・ WXGA 1280 × 800 ドットの高解像度ワイド液晶パネル採用
- ・ XGA/WXGA 画像をリアル表示、SXGA を圧縮表示

[機能性]

- ・ 豊富な入出力端子 (DVI-D 入力、ミニ D-sub 入出力、コンポーネント入力、S ビデオ入力、ビデオ入力) を装備
- ・ 自動入力サーチ機能
- ・ 自動 PC 調整機能
- ・ 海外のカラーシステム (NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM) にも対応
- ・ OSD メニューの便利な機能 (メニューの位置・透明度・表示時間が可変)
- ・ 多機能リモコン付属

[設置性]

- ・ 軽量 3.2Kg のコンパクトボディ
- ・ 1.2 倍光学ズームレンズ搭載
- ・ デジタル・キーストーン機能搭載
- ・ 据置、天吊り、リア据置、リア天吊りに対応
- ・ RS232C 外部制御に対応

～本説明書中の記号について～	
	操作上の注意事項や制限事項を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
[ボタン] 名	リモコン、またはプロジェクター本体の入出力端子や操作パネルのボタン名称を示しています。 例：[MENU] ボタン、[VIDEO IN] 端子
「メニュー」名	メニューの項目を示しています。 例：「インプット」、「セッティング」

* 本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものとは異なります。

もくじ

LP-WXU10の特長.....	2	メニューの操作.....	28
もくじ.....	3	メニューの操作方法.....	29
安全上のご注意.....	4	映像 (コンピュータモード)	30
安全に正しくお使いいただくために...4		映像 (ビデオモード)	31
正しくお使いいただくために.....	10	画像 (コンピュータモード)	32
準備.....	15	画像 (ビデオモード)	33
付属品を確認してください.....	15	セッティング.....	34
本体各部の名称.....	16	サウンド.....	35
前面.....	16	アドバンスド.....	35
後面.....	16	言語.....	35
底面.....	16	保守とお手入れ.....	36
操作パネル.....	17	レンズのお手入れ.....	36
接続ポート.....	18	キャビネットのお手入れ.....	36
リモコン.....	19	フィルターのお手入れ.....	37
電池の入れかた.....	20	ランプの交換.....	38
リモコンによる操作.....	21	仕様.....	40
設置.....	22	プロジェクター本体.....	40
プロジェクターの接続.....	22	リモコン.....	40
電源コードを接続する.....	23	付属品.....	41
プロジェクターの電源のオン/オフ.....	25	別売品.....	41
電源を入れる.....	25	付録.....	42
電源を切る.....	25	インジケータ表示.....	42
投射イメージを調整する.....	26	対応信号一覧表.....	43
プロジェクターの高さと傾きを調整する.....	26	コンピュータ (COMPUTER IN/DVI-D IN 端子).....	43
ズームとフォーカスを調整する...26		ビデオ (COMPONENT IN 端子)...	43
投映画面サイズを調整する.....	27	故障かなと思ったら.....	44
		シリアル制御機能.....	46
		保証とアフターサービス.....	47

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

■ 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例



注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。

△の中に具体的な注意内容が描かれています。



たとえばこの絵表示は「感電注意」を意味します。



してはいけない行為（禁止事項）を示しています。

⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。



たとえばこの絵表示は「分解禁止」を意味します。



しなければならない行為を示しています。

●の中に具体的な指示内容が描かれています。

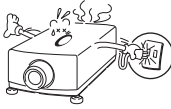


たとえばこの絵表示は「電源プラグをコンセントから抜け」を意味します。

警告



警告



下記のような場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ・煙が出ている
- ・変なおいや音がする
- ・水など液体が本機の内部に入った
- ・金属類や異物が本機の内部に入った
- ・画面が映らない
- ・音が出ない
- ・大きな音が出てランプが消えた



電源プラグをコンセントから抜け



禁止

故障したまま使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



警告



万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

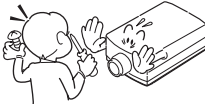
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜け



分解禁止



本機のキャビネットは外さないでください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



禁止



禁止

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

※ 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐタコ足配線もしないでください。

⚠ 警告



禁止



水ぬれ禁止

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止



本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



禁止



不安定な場所や荷重に耐えられないところに置かないでください。

ぐらついた台の上や、傾いた所、高い棚の上など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



警告

「天吊り」設置をするときは、専用の金具が必要です。

取り付けが不十分なときは落下する危険があり、事故やけがの原因となります。設置工事専門の技術者にご依頼ください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

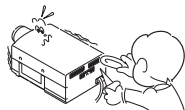


禁止



吸気口・排気口にご注意ください。

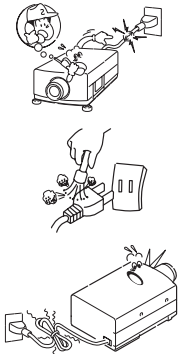
- ・ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。
- ・本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- ・本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお客様にはご注意ください。



⚠ 警告



禁止



電源コードの取扱に注意してください。

- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず重い物をのせてしまうことがあります。
- 電源コードが傷んだら、(芯線の露出、断線など) 販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。
- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。(結露するところや水槽の近くには特にご注意ください)
- 電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。



接触禁止



雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。

感電の原因となります。



禁止

本機やリモコンを改造しないでください。

火災・感電の原因となります。



アース線を
接続せよ

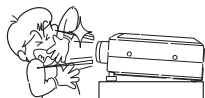
アース線を接地してください。

本機は接地端子の付いた 3 ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を接地してください

⚠ 警告



警告



使用中はレンズをのぞかないでください。
強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。
とくに小さなお子様にはご注意ください。吸気口や排気口
ものぞかないでください。

⚠ 注意



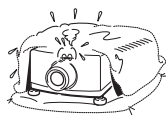
禁止



以下のような場所には置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。
・ 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場
所に置かないでください。



禁止



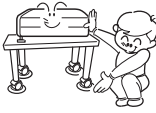
ご使用のときは、ファンの吸気口および排気口をふ
さがさないでください。

内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵してい
ます。
吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因
となることがあります。

- ・ 設置のときは、ファンの排気口を壁から 90cm 以上あげ
てください。
- ・ 空調設備の排気ダクト付近などに設置しないでください。
- ・ 次のような使い方はしないでください。
 - * 横倒しなど、指定以外の方向への設置。
 - * 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し
込む。
 - * じゅうたんや布団の上に置く。
 - * テーブルクロスなどを掛ける。

また、壁など、周囲のものからじゅうぶんにはなし、風通しを
よくしてください。(上方 15cm、側面 30cm、後面 90cm)

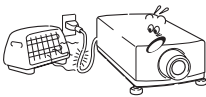
⚠ 注意



キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。
動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。
特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



電源コードを熱器具に近づけないでください。
コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。



移動させる場合は、電源コードにご注意ください。
電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、移動してください。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になることがあります。また、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
感電の原因となることがあります。

⚠ 注意



電源プラグを
コンセントから
抜け



長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



注意



長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。

掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。

持ち運ぶときは、専用のケースに納めて運んでください。車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。輸送用の専用ケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

● 付属のキャリーバッグ使用上の注意 ●

付属のキャリーバッグは液晶プロジェクターを持ち運ぶとき、ホコリ等による汚れの防止と、キャビネット表面保護のためです。キャリーバッグは液晶プロジェクターを外部からの衝撃から保護する様に設計されていません。キャリーバッグに入れて持ち運ぶとき、衝撃を与えたり、落としたり、またはキャリーバッグに入れた液晶プロジェクターの上にもものを置かないでください。破損の原因となります。液晶プロジェクターをキャリーバッグで輸送しないでください。破損の原因となります。(液晶プロジェクターを付属のキャリーバッグへ入れるときは、レンズ部分が上にくるように入れてください。)

● 電波障害自主規制について ●

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

設置するときは次のことに注意してください

● 排気口の温風にご注意ください ●

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

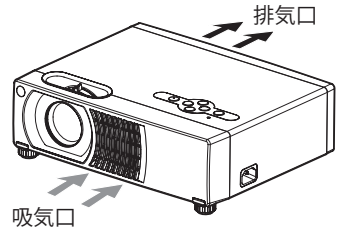
- ・ スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- ・ 金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- ・ 観葉植物やペットを置かないでください。
- ・ 熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- ・ 排気口付近には視聴席を設けないでください。



注意



熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。特に小さいお子さまにはご注意ください。



● こんな場所には設置しないでください ●

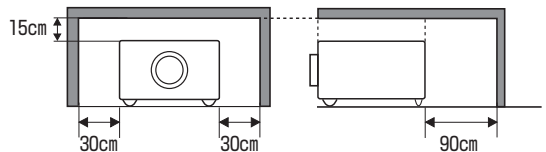
湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

使用温度範囲	5°C ~ 35°C	保管温度範囲	-20°C ~ 60°C
--------	------------	--------	--------------

● 壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください ●

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因や、プロジェクターの寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込んだりしないで、風通しのよい場所に設置してください。

(上方 15cm、側面 30cm、後面 90cm)



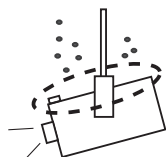
● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

エアフィルターのお手入れ

吸気口のエアフィルターは、プロジェクター内部の光学部品（レンズやミラー）をホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまるとプロジェクターを冷却する空気の流れが悪くなり、内部の温度が上がり故障の原因となります。長期間プロジェクターの安全と性能を維持するためには、エアフィルターを定期的に掃除することが必要です。掃除の目安はプロジェクターをご使用になる環境によって異なります。通常的生活環境でプロジェクターをご使用になる場合は、約 100 時間のご使用のたびにエアフィルターの掃除をされることをおすすめします。ホコリや煙が多い場所でプロジェクターをご使用になる場合、その状況によってこまめに掃除を行なってください。エアフィルターの掃除の手順は 37 ページをご覧ください。

天井から吊り下げてご使用になるときに

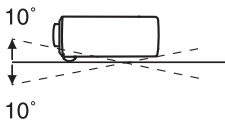


天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルター周辺の掃除を定期的に行なってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についてのホコリは掃除機などで取りのぞいてください。

正しい方向に設置してください

プロジェクターを安全にご使用頂くため、プロジェクターは必ず指定の方向でご使用ください。指定以外の方向でご使用になると、プロジェクターの寿命を縮めるだけでなく、故障や火災、事故の原因となります。

以下の方向では使用しないでください



傾きは 10° 以内に

プロジェクターの前後方向の傾きは各 10 度以内としてください。



上向き禁止

プロジェクターを上方向に投射しないでください。



横置き禁止

プロジェクターを横に立てて使用しないでください。



下向き禁止

プロジェクターを下方向に投射しないでください。



左右傾け禁止

プロジェクターを左右に傾けないでください。

⚠️ ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たらすみやかに新しいランプと交換してください。
- 万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

⚠️ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行ってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。お客様相談センターへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

⚠️ 使用済みランプの廃棄について

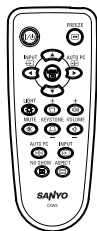
プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

準備

付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

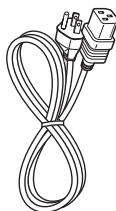
① リモコン(CXWS)



② リモコン用アルカリ乾電池(単四形2本)



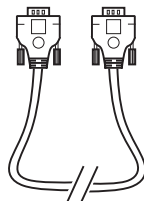
③ 電源コード



④ 電源プラグアダプタ



⑤ コンピュータ接続ケーブル(D-sub用)



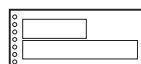
⑥ キャリングケース



⑦ 取扱説明書(本書)



⑧ 保証書

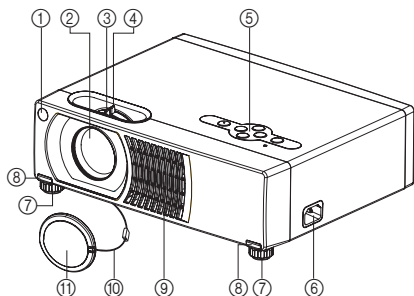


⑨ お客様ご相談窓口一覧



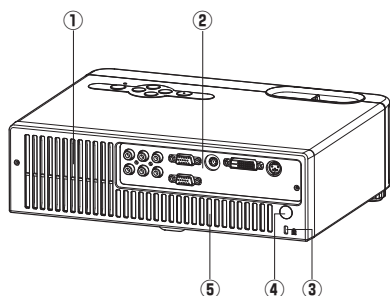
本体各部の名称

前面



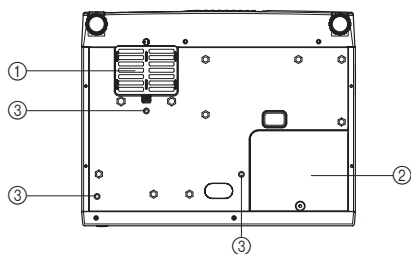
- ① リモコン受信部 (前)
- ② 投映レンズ
- ③ フォーカスリング
- ④ ズームリング
- ⑤ 操作パネル
- ⑥ 電源コード接続ソケット
- ⑦ 高さ調整脚
- ⑧ 高さ調整ボタン
- ⑨ 排気口
- ⑩ レンズキャップストラップ
- ⑪ レンズキャップ

後面



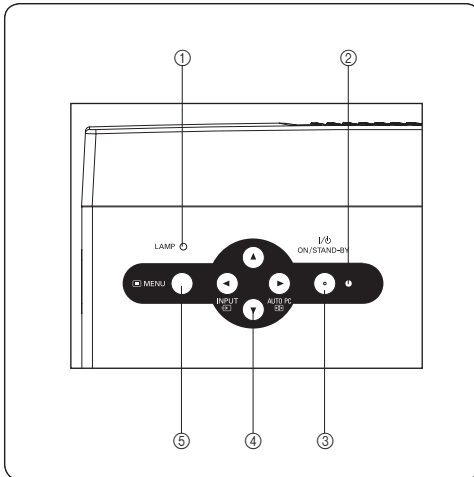
- ① 排気口
- ② 接続ポート
- ③ Kensington ロック
- ④ リモコン受信部 (後)
- ⑤ スピーカー

底面



- ① フィルターカバー
- ② ランプカバー
- ③ 天吊り金具取付け穴 (3-M4*6)

操作パネル



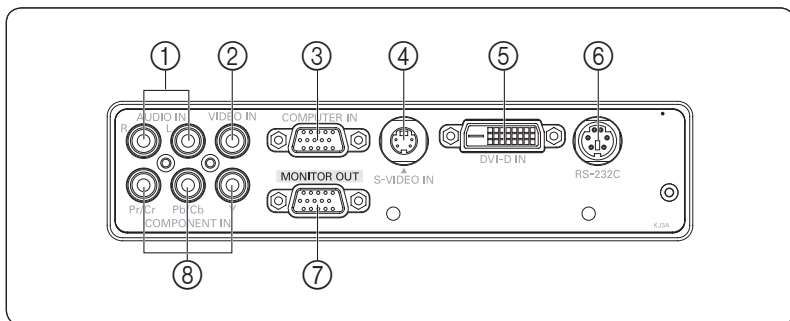
インジケータ (LED)

- ① LAMP インジケータ
「インジケータ表示」(P42) を参照してください。
- ② 電源 (ON/STANDBY) インジケータ
「インジケータ表示」(P42) を参照してください。

ボタン

- ③ ON/STAND-BY
「プロジェクターの電源のオン / オフ」(P25) を参照してください。
- ④ ポイント (INPUT/AUTO PC) ボタン
 - ・ 項目の選択やセッティングの調整に使用します。
 - ・ 入力ソースをマニュアルで選択します。(左側のボタン)
 - ・ トラッキングと総ドット数を自動的に調整します。この機能はコンピュータモードでのみ使用できます。(右側のボタン)
- ⑤ MENU
オンスクリーン表示メニューを表示します。

接続ポート



① AUDIO IN (R/L)

ビデオ機器からのオーディオ出力を接続します。

② VIDEO IN

ビデオ機器からのコンポジットビデオ出力を接続します。

③ COMPUTER IN

コンピュータからのアナログ出力を接続します。

④ S-VIDEO IN

ビデオ機器からの S-Video 出力を接続します。

⑤ DVI-D IN

コンピュータからのデジタル出力を接続します。

⑥ RS-232C

コンピュータから本機を操作する場合は、このポートをコンピュータの RS-232C ポートに接続します。

⑦ MONITOR OUT

投映中のコンピュータ画面の映像を外部映像機器へ出力する端子です。

⑧ COMPONENT IN (Y Cb/Pb Cr/Pr)

ビデオ機器からの Y Cb/Pb Cr/Pr 出力を接続します。

リモコン

① ON/STAND-BY

プロジェクターの電源をオン/オフします。

② ポイント (INPUT/AUTO PC) ボタン

- ・ メニューの項目の選択やメニューの調整・設定に使用します。
- ・ 入力ソースを切り換えます。(左側のボタン)
- ・ トラッキングと総ドット数を自動的に調整します。この機能はコンピュータモードでのみ使用できます。(右側のボタン)

③ MENU

メニューを表示します。

④ LIGHT

このボタンを押している間、LED ライトが点灯します。連続長押しまたは頻繁に使用すると電池の消耗を早めますのでご注意ください。

⑤ MUTE

音を一時的に消します。MUTE 機能をキャンセルするには、このボタンをもう一度押します。

⑥ AUTO PC

トラッキングと総ドット数を自動的に調整します。この機能はコンピュータモードでのみ使用できます。

⑦ NO SHOW

画面を一時的に消します。NO SHOW 機能をキャンセルするには、このボタンをもう一度押します。

⑧ ASPECT

画面のアスペクト比を切り換えます。

⑨ INPUT

入力ソースを切り換えます。

⑩ KEYSTONE + / -

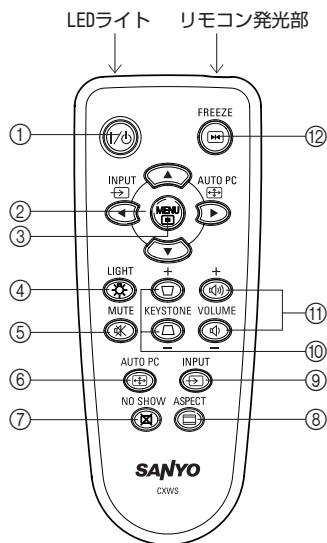
投映画像の台形ゆがみを補正します。

⑪ VOLUME + / -

音量を調節します。

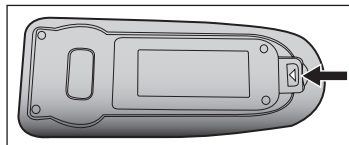
⑫ FREEZE

このボタンを押すと投映画像が一時的に静止します。FREEZE 機能をキャンセルするには、このボタンをもう一度押します。

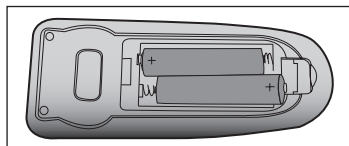


電池の入れかた

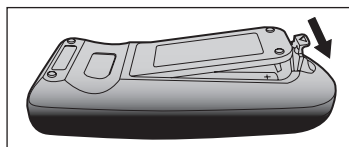
1. 電池カバーを矢印方向に開けます。



2. 図に示すように電池を入れます。
付属の乾電池を+（プラス）、-（マイナス）に注意して入れます。
使用乾電池：単四形アルカリ乾電池 2 本



3. 電池カバーを閉めます。



電池を使用するときのご注意

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんで注意ください。

- 種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
- 乾電池は充電しない。分解しない。
- +極と一極の向きを正しく入れる。+極と一極をショートさせない。
- 可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- 電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- 長い間使わないときは乾電池をとりだす。
- 液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。

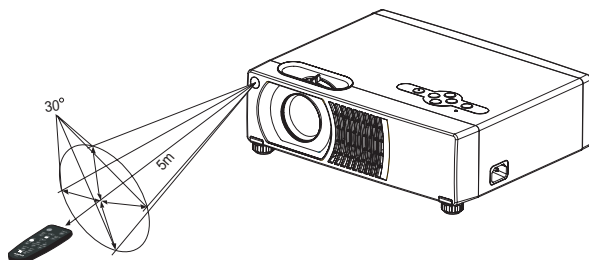


リモコンによる操作

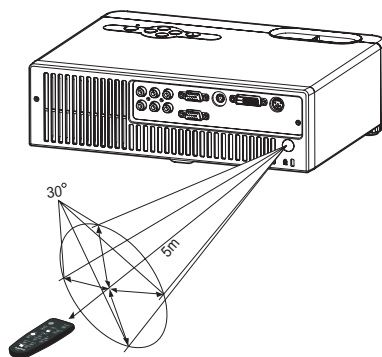
リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面・後面のリモコン受信部から、約 5m 以内、上下左右 30 度以内です。

※間に障害物があると操作の妨げになります。

■ 前面からの操作



■ 後面からの操作



!!! リモコンを使用するときのご注意

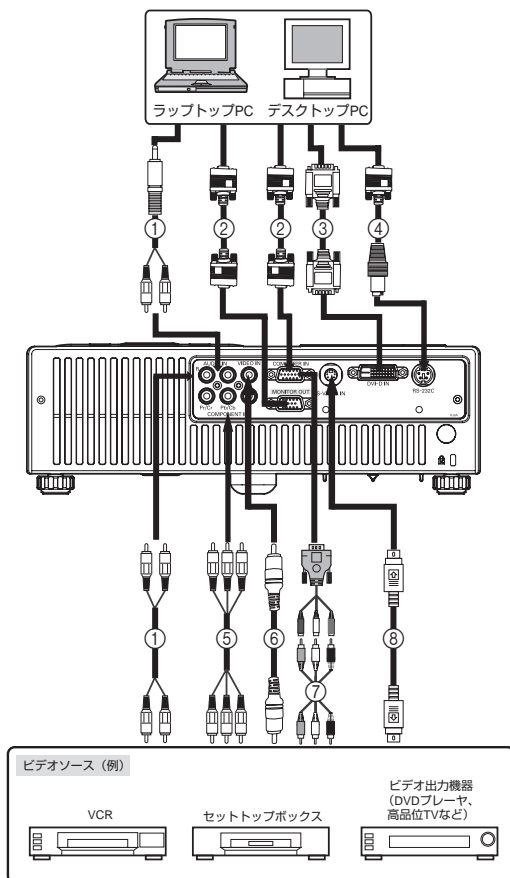
- 本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が入らないようにする。
- 本体のリモコン受光部が見える位置でリモコンを操作する。
- 落としたり衝撃を与えない。
- 熱や湿気をさける。
- 水をかけたり、上に濡れたものを置かない。
- 分解しない。

設置

プロジェクターの接続

- ① オーディオケーブル
- ② コンピュータ接続ケーブル (D-Sub 用) *
- ③ コンピュータ接続ケーブル (DVI 用)
- ④ RS232C ケーブル **
- ⑤ ビデオケーブル (RCA × 3)
- ⑥ ビデオケーブル (RCA × 1)
- ⑦ D-sub/ コンポーネントケーブル **
- ⑧ ビデオケーブル (RCA × 3)
- ⑧ S ビデオケーブル

* ケーブルは 1 本のみ付属 ** ケーブルは別売品 (P. 41 ページ)

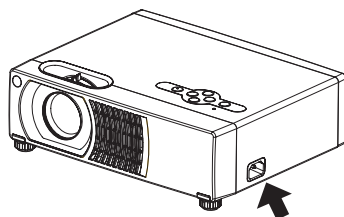


ケーブルを接続する際は、必ずプロジェクターと外部機器の電源コードをコンセントから外してください。

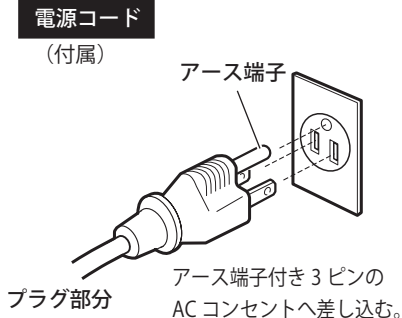
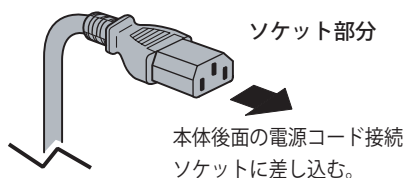
電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、18、22 ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

1. 電源コードのソケット部分を本体側面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



2. 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3 ピンの AC コンセントに差し込みます。



電源コード取扱上の注意

電源コードはかならず本機に付属のものをご使用ください。他の機器に使われているものを絶対にご使用にならないでください。事故や火災の原因となります。また、本機に付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

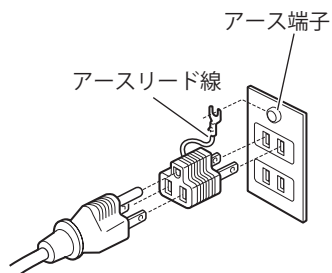
ご使用にならないときは電源コードを抜いてください

本機は、本体の操作パネルまたはリモコンの [ON/STAND-BY] ボタンで電源を切っても約 5W の電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

電源プラグアダプタのアースリード線を接地してください

電源コードのプラグはアース端子付き3ピンプラグです。アースは確実に接地してご使用ください。コンセントが2ピン専用(アース端子がない)場合は、アース工を行ない、付属の電源プラグアダプタを使用して接続してください。アースはコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因になることがあります。

- 感電の原因となりますので、アース工事は必ず専門業者に依頼してください。
- アースリード線をコンセントに差し込まないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグアダプタを使うときは、安全のため、コンセントに電源プラグアダプタを差し込む前にアースリード線をアースへ接地してください。また、はずすときは電源プラグアダプタをコンセントから抜いたあとでアースリード線ははずしてください。



プロジェクターの電源のオン / オフ

電源を入れる

1. レンズキャップを外します。
2. 周辺機器の信号ケーブルを接続した後、電源コードを接続します。
3. 本体の操作パネルまたはリモコンの [ON/STAND-BY] ボタンを押します。
4. コンピュータ、DVD プレーヤーなど、入力ソースの電源を入れます。接続された入力ソースが自動的に検出されます。
 - 検索中メッセージが画面に表示されたら、該当する信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。
 - 入力ソースが検出されると、選択された信号名が画面に表示されます。
 - 複数の入力ソースをプロジェクターに接続している場合は、希望の信号になるまで [INPUT] ボタンを押します。



- 電源を入れる前に、レンズキャップを外してください。
- 使用中は絶対にレンズをのぞかないでください。目を痛めます。特にお子様がレンズをのぞかないように注意してください。
- 同じ静止画を 15 分以上投射すると、液晶パネルが焼き付くおそれがあるため、静止画を長時間投射したままにしないでください。

電源を切る

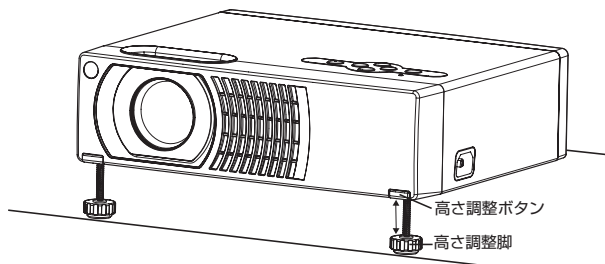
1. 本体の操作パネルまたはリモコンの [ON/STAND-BY] ボタンを押します。「電源を切りますか？もう一度電源ボタンを押してください」というメッセージが画面に表示されます。
2. [ON/STAND-BY] ボタンをもう一度押します。
3. 電源を切った後も冷却ファンは回転し続けます（冷却時間）が、LAMP インジケータは消灯します。プロジェクターがスタンバイモードになると、電源インジケータが点滅します。プロジェクターの電源を切った後、再度電源を入れる場合は、プロジェクターの冷却ファンが停止し、スタンバイモードになるまで待ってください。
4. プロジェクターがスタンバイモードになったら、プロジェクターの電源コードをコンセントから抜きます。



- 冷却ファンが停止し、LAMP インジケータが消灯してから、プロジェクターの電源コードを外してください。
- 短い周期で電源のオン、オフを繰り返すとランプの寿命が短くなります。電源を入れて 7 分以上経過してから、電源を切ってください。

投映イメージを調整する

プロジェクターの高さと傾きを調整する



本機には、画像の高さを最大 9.0 度まで調整できる高さ調整脚が 2 本あります。

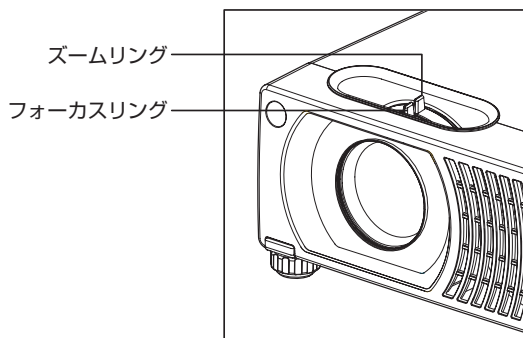
画像を上下に調整する手順は、次のとおりです。

1. 本体前方を持ち上げてから高さ調整ボタンを押し高さ調整脚を伸ばします。
2. 画像を目的の高さと傾きに調整し、高さ調整ボタンから手を離し高さ調整脚をロックします。
3. 高さ調整脚をまわして画像の高さと傾きを微調整します。

キャリングケースへ入れるときのご注意

プロジェクターに損傷を与えないために、プロジェクターをキャリングケースに入れるときは、高さ調整脚が元の位置に収納されていることを確認してください。

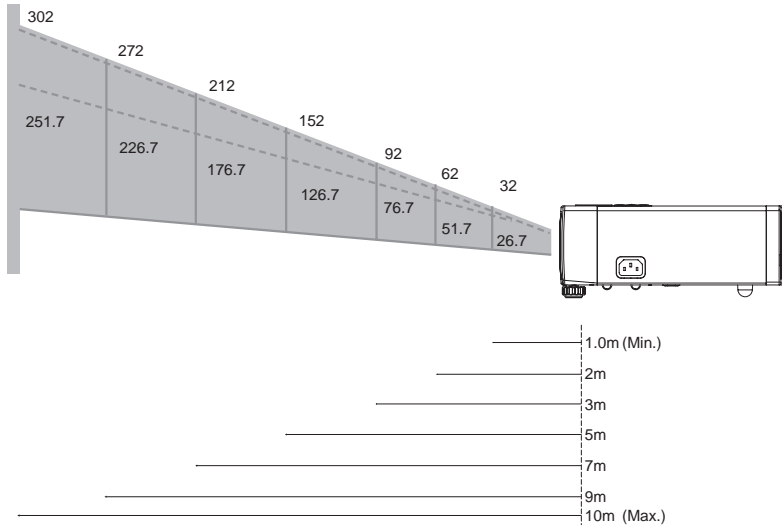
ズームとフォーカスを調整する



1. ズームリングを回して画像の大きさを調整します。右に回すと、画像は小さくなります。左に回すと、画像は大きくなります。
2. フォーカスリングを回して画像の焦点を合わせます。焦点を合わせるには、静止画を使用することをお勧めします。

投映画面サイズを調整する

下の図と表を参考にして、画面サイズと投映距離を決めます。
スクリーンからレンズまでの距離が1m～10mの範囲内に設置してください。



投映距離 (m)		1.0	2.0	3.0	5.0	7.0	9.0	10.0
16:10 画面サイズ (対角:インチ)	ワイド	32	62	92	152	212	272	302
	テレ	26.7	51.7	76.7	126.7	176.7	226.7	251.7



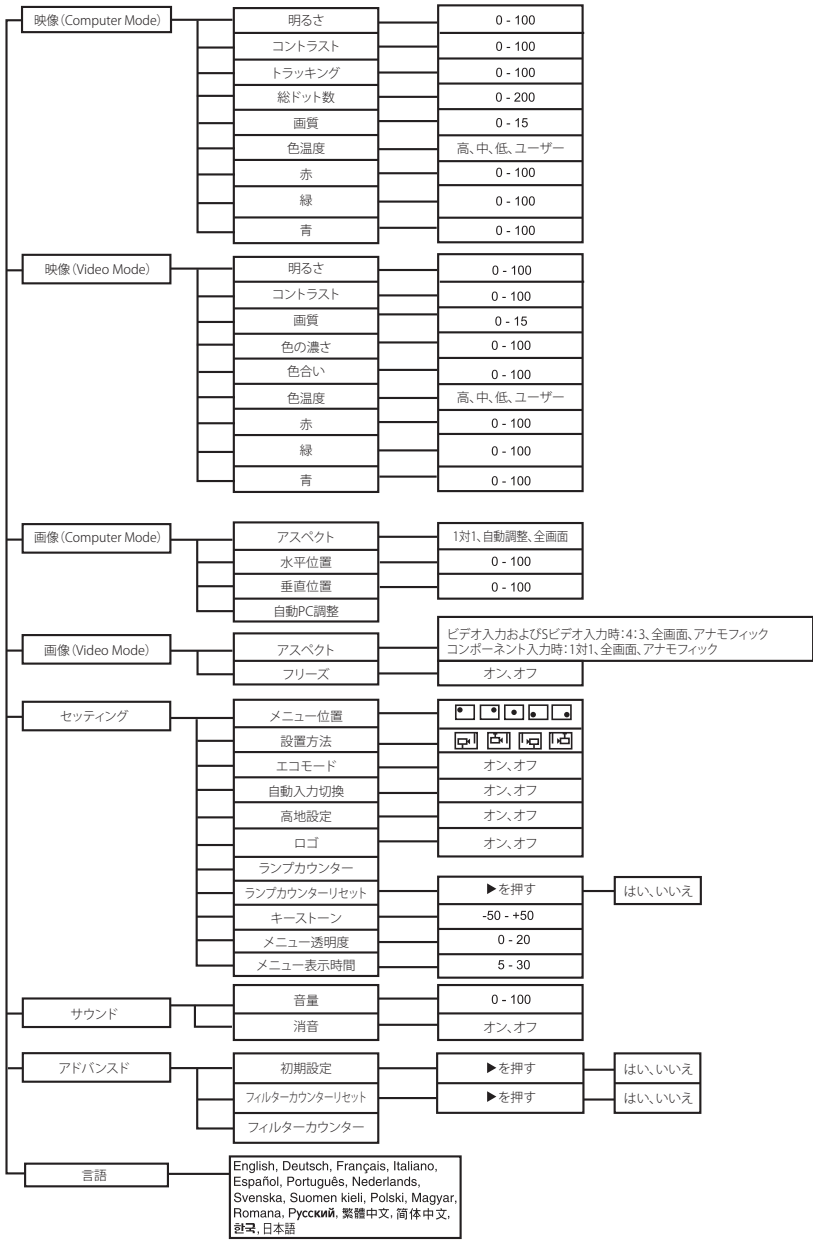
- プロジェクターは左右方向には水平に置いてください。水平でないと、内部に熱がこもり、本体が損傷するおそれがあります。
- 排気口がふさがれていないことを確認してください。
- 油煙やタバコの煙が多い場所では使用しないでください。レンズなどの光学部品に汚れが付着する原因になります。

💡 お使いになる部屋の明るさについて

スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落としてください。

メニューの操作

プロジェクターには、画像を調整したり様々な設定を変更できる多言語オンスクリーン表示 (OSD) メニューがあります。



メニューの操作方法

1. [MENU] ボタンを押すと OSD メニューが表示されます。
2. OSD が表示されたら、▲ / ▼ ボタンを押してメインメニューの項目を選択します。メインメニューの項目を選択後、▶ ボタンを押してサブメニューで設定するセッティングを選択します。
3. ◀ / ▶ ボタンを押してセッティングを調整します。
4. [MENU] ボタンを押すと、画面はメインメニューに戻ります。
5. OSD を終了するには、[MENU] ボタンをもう一度押します。OSD メニューが終了し、変更した調整値または設定が自動的に保存されます。

映像（コンピュータモード）

明るさ

画像の明るさを調整します。

- ・ ◀を押すと、画像が暗くなります。
- ・ ▶を押すと、画像が明るくなります。

コントラスト

画像のコントラストを調整します。

- ・ ◀を押すと、コントラストがうすくなります。
- ・ ▶を押すと、コントラストがこくなります。

トラッキング

トラッキングは、画面の信号タイミングとコンピュータのグラフィックカードの信号タイミングを同期させます。

画面が不安定な場合またはちらつく場合は、トラッキングを調整してください。

総ドット数

総ドット数は、表示データ周波数を変更して、コンピュータのグラフィックカードの周波数と一致させます。垂直バーがちらつく場合は、総ドット数を調整してください。

画質

画像の鮮明度を調整します。

- ・ ◀を押すと、画質がやわらかくします。
- ・ ▶を押すと、画質がくっきりします。

色温度

色温度を調整します。色温度が高いと、画面は青味がかり、色温度が低いと赤味がかります。「ユーザー」を選択すると、「赤」、「緑」、「青」を調整できます。

赤

赤をマニュアルで調整します。

緑

緑をマニュアルで調整します。

青

青をマニュアルで調整します。



映像（ビデオモード）

明るさ

画像の明るさを調整します。

コントラスト

画像のコントラストを調整します。

画質

画像の鮮明度を調整します。

色の濃さ

画像の色の濃さを調整します。

色合い

画像の色合いを調整します。

色温度

色温度を調整します。色温度が高いと、画面は青味がかかり、色温度が低いと赤味がかかります。「ユーザー」を選択すると、「赤」、「緑」、「青」を調整できます。

赤

赤をマニュアルで調整します。

緑

緑をマニュアルで調整します。

青

青をマニュアルで調整します。



画像（コンピュータモード）

アスペクト

この機能を使用して、目的の画像サイズを選択します。

- ・ 1対1： 画像の縦横比をオリジナルの1対1に保ちます。
- ・ 自動調整： 表示出力にできるだけ近づくように画像を拡大すると同時に、入力信号のオリジナルのアスペクト比を維持します。4:3出力に対して16:9入力を行うと、上下に黒い帯が出ます。
- ・ 全画面： スクリーンいっぱいに収まるように入力画像を拡大します。



水平位置

- ・ ◀を押すと、画像は左側に移動します。
- ・ ▶を押すと、画像は右側に移動します。

垂直位置

- ・ ◀を押すと、画像は下に移動します。
- ・ ▶を押すと、画像は上に移動します。

自動PC調整

入力を自動スキャンします。

画像（ビデオモード）

アスペクト

この機能を使用して、目的の画像サイズを選択します。

ビデオ入力およびSビデオ入力時：

- 4：3、全画面、アナモフィックの中から選択します。

コンポーネント入力時：

- 1対1、全画面、アナモフィックの中から選択します。

- 4：3： 画像の縦横比を4：3で映します。
- 1対1： 画像の縦横比をオリジナルの1対1に保ちます。
- 全画面： スクリーンいっぱい収まるように入力画像を拡大します。
- アナモフィック： 画像をワイドに変換して映します。出力画像の中心はそのまま、左右の端を拡大します。

フリーズ

- スクリーン上の画像を静止するには、「オン」を選択します。
- スクリーン上の画像の静止を解除するには、「オフ」を選択します。







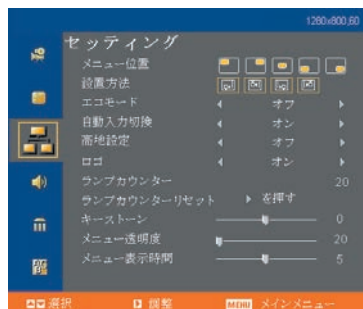
セッティング

メニュー位置

スクリーン上のメニュー位置を選択します。

設置

- ・  フロント-デスク
初期設定
- ・  フロント-天吊り
この機能を選択すると、画像は天吊り投映用に上下逆になります。
- ・  リア-デスク
この機能を選択すると、半透明スクリーンの背後から投映できるように画像が左右反転されます。
- ・  リア-天吊り
この機能を選択すると、画像は左右反転され、かつ上下逆になります。天吊り投映では、半透明スクリーンの背後から画像を投映できます。



エコモード

この機能を使用するとランプ出力が抑えられるため、ランプの消費電力が低下しランプの寿命が長くなります。

自動入力切替

入力信号を自動的に切り換える場合に使用します。

高地設定

高地設定モードをオンにすると、プロジェクターの冷却ファンは高地に適した連続フル速度で回転します。

ロゴ

電源オン時にロゴを表示する、または表示しないを選択します。

ランプカウンター

ランプの実使用時間を表示します。

ランプカウンターリセット

▶を押してサブメニューを表示し、[MENU] ボタンを押して、ランプカウンターをゼロにリセットします。

キーストーン

投映画像の台形歪みを補正します。

メニュー透明度

メニュー透明度の調整に使用します。

メニュー表示時間

OSD メニューの表示が持続する時間を 5 秒から 30 秒までの間で設定します。

サウンド

音量

- ・ ◀を押すと音量が小さくなります。
- ・ ▶を押すと音量が大きくなります。

消音

- ・ 消音機能をオンにするには、「オン」を選択します。
- ・ 消音機能をオフにするには、「オフ」を選択します。



アドバンスド

初期設定

▶を押してそのサブメニューに入ります。[MENU] ボタンを押すと、すべてのメニューの表示パラメータは、工場出荷状態に戻ります。

フィルターカウンターをリセットしますか？

▶を押してそのサブメニューに入ります。[MENU] ボタンを押すと、フィルターカウンターがゼロにリセットされます。

フィルターカウンター

フィルターの実使用時間を表示します。



メニューの
操作

言語

多言語 OSD メニューを選択します。▲ / ▼を使用して目的の言語を選択します。▶を押すと選択が確定されます。

日本語は 17 言語の一番下にありますので、▼を押していくと選択することができます。



保守とお手入れ

本機の性能を維持し安全に使用するには、正しくお手入れしていただく必要があります。レンズにホコリや汚れが付着すると、画像の品質が低下します。部品の交換が必要な場合は、お買い上げ店またはサービス担当者（有資格者）にご連絡ください。本体の部品をお手入れされる場合は、必ず本体の電源を切り、電源コードを外してください。

注意：

本体のカバーは開けないでください。内部には、高電圧の部分があり、重大な負傷の原因となります。本機の保守作業は、ご自身で行わず、サービス担当者（有資格者）にお任せください。

レンズのお手入れ

レンズクリーニングペーパーを使って力を入れずにレンズを拭きます。手でレンズ面に直接触れないでください。

キャビネットのお手入れ

柔らかい布でほこりを拭き取ります。汚れがひどいときは、水または水でうすめた中性洗剤にひたした柔らかい布でふき取り、乾いた布で仕上げてください。

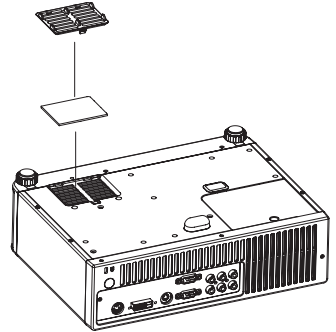
フィルターのお手入れ

プロジェクターの底面にあるエアフィルターは、100時間（使用時間）ごとに掃除してください。定期的に掃除をしないと、ホコリがつまりプロジェクターの排気機能が低下します。それによりプロジェクターの内部温度が上昇し、故障の原因となります。

フィルターカウンターのタイマーが400時間を越えると「フィルターを掃除してください」という警告メッセージが出るようになります。なるべく早くエアフィルターを掃除するか、または新しいものに交換してください。

エアフィルターは、次の手順で掃除してください。

1. プロジェクターの電源を切り、電源コードをコンセントから外します。
2. プロジェクターの下にシート（布）を敷きます。本体を逆さにし底面を上にします。
 - 本体が安定していることを確認します。
3. フィルタータブを押し込み、エアフィルターを外します。
4. エアフィルターのホコリや汚れを取ります。
 - エアフィルターの掃除には、コンピュータやOA機器用の小型の掃除機を使用することをお勧めします。
 - 汚れが落ちにくい場合や、フィルターが破れた場合は、新しいものと交換してください。
交換用エアフィルター（別売）は、お買い上げの販売店にご相談ください。



取り換え用エアフィルターの品番：610 337 9623

5. エアフィルターを元の位置に取り付けます。
6. 電源コードを本体に差し込みます。
7. フィルターカウンターをリセットします。フィルターカウンターのリセットのしかたは、「アドバンスド」メニュー内の「フィルターカウンターをリセットしますか？」（P35）を参照してください。



- 本体をお手入れするときは、プロジェクターの電源を切り、電源コードをコンセントから外してください。
- 掃除を行う前に、レンズが熱くないことを確認します。
- 洗剤や薬品以外は使用しないでください。ベンジンやシンナーは使用しないでください。
- 薬剤スプレーは使用しないでください。
- 柔らかい布またはレンズクリーニングペーパーのみを使用してください。
- フィルターカウンターは、エアフィルターを掃除または交換した後以外には、リセットしないでください。
- フィルター警告メッセージは、タイマーが500時間を越えると、電源オン時にも出ます。このメッセージは、フィルターカウンターをリセットすると出なくなります。

ランプの交換

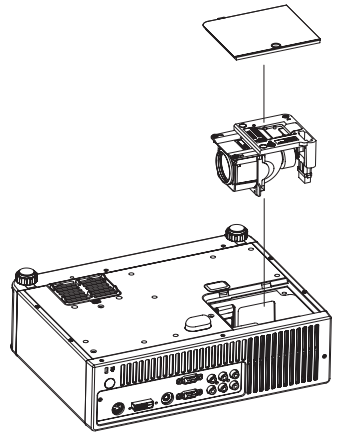
ランプには寿命があります。次の場合にランプを交換してください。

- 「ランプの寿命が近づいています。交換をお勧めします。」というメッセージ画面が表示される。
- 長時間ランプを使用すると、画像が暗くなり色合いが悪くなる。
- プロジェクターのLAMP インジケータの点灯色が黄色に変わる。詳細は「インジケータ表示」(P46)を参照してください。



- [ON/STAND-BY] ボタンによりプロジェクターの電源を切った後も、ランプは高温になっています。ランプに触れると、やけどをするおそれがあります。ランプ交換は、本機の電源を切り、45分以上放置してから行ってください。
- ランプのガラス面には触れないでください。ランプのガラス面を手で触れるなど、取扱方法を誤るとランプは破裂するおそれがあります。
- ランプの寿命は、ランプごとに、また使用環境により異なります。各ランプの寿命は同じ寿命とは限りません。寿命までの時間は、それぞれのランプで異なります。
- 使用可能な時間が少なくなると、振動、衝撃、劣化などによりランプが破裂するおそれがあります。ランプが破裂する可能性は、使用環境や使用条件によって異なります。
- ランプを交換するときは、保護手袋と保護メガネを着用してください。
- 短い周期で電源のオン、オフを繰り返すとランプの寿命が短くなります。電源を入れて7分以上経過してから、電源を切ってください。
- 紙、布など燃えやすいものの近くでランプを点灯させたり、これらのものでランプを覆わないでください。火災の原因になります。
- シンナーなど引火性物質が存在する環境でランプを点灯させないでください。火災や破裂の原因になります。
- ランプを点灯する場合は、十分に室内の換気をしてください。オゾンを含んだ空気を吸い込むと、頭痛、吐き気、めまいなどを起こすことがあります。
- ランプ内部には無機水銀が含まれています。ランプが破裂すると、水銀がプロジェクターの外部に漏れます。ランプが破裂した時は、直ちにその場所を離れ、30分以上上部屋の換気を行って水銀を含んだ煙霧を吸い込むことがないように注意してください。万一吸い込むと健康を害するおそれがあります。

1. プロジェクターの電源を切り電源コードを外します。必ず45分以上放置してください。
2. プロジェクターの下にシート（布）を敷き、本体を逆さにします。
3. ランプカバーのネジをゆるめ、ランプカバーを開けます。
4. ランプハウスのネジをゆるめます。
5. ランプハンドルを持ち、ランプハウスを本体から引き抜きます。
6. 新しいランプと交換します。
7. ランプハウスのネジを締めます。
8. ランプカバーのネジを締めます。
9. ランプカウンターをリセットします。「セッティング」メニューの「ランプカウンターリセット」（P.34）の項を参照してください。



- 使用済みランプは、地域の条例に従って処分してください。
- ネジがしっかり締まっていることを確認します。ネジが十分に締まっていないと、けがや事故を招くおそれがあります。
- ランプにはガラスが使用されているため、ランプハウスを落としたり、ガラス面をひっかいたりしないよう注意してください。
- 使用済みのランプは再使用しないでください。ランプが破裂する原因となります。
- ランプカバーを外した状態で本機を使用しないでください。



動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、45分以上放置してから行ってください。
動作停止後すぐに手で触ると、やけどをするおそれがあります。

交換ランプの注文

交換ランプはお買い上げの販売店に注文してください。ご注文の際は、次の情報をお知らせください。

- プロジェクターの品番： LP-WXU10
- 交換ランプの品番： POA-LMP113
(サービス部品コード：610 336 0362)

仕様

プロジェクター本体

型名	LP-WXU10
表示方式	0.56 インチ液晶パネル 3 枚構成の液晶プロジェクター
解像度 (画素数)	1280 × 800 (1,024,000 ドット × 3)
レンズ	マニュアルズーム (1.2 倍)
アスペクト比	16:10 (初期設定)
画面サイズ	26.7" ~ 302"
ランプ	210W
ビデオ対応信号	NTSC3.58、NTSC4.43 PAL、PAL-60、PAL-M、PAL-N、SECAM 480i、480p、576i、576p、720p、1080i
入力	ミニ D-Sub 15 ピン、S-Video、コンポジットビデオ、YCbCr、DVI、 RCA タイプ × 2、RS232C
出力	ミニ D-Sub 15 ピン
走査周波数 水平周波数 垂直周波数	15K ~ 80KHz 50 ~ 85Hz
内蔵スピーカー	1 × 2W
保管温度	-20 ~ +60°C
動作温度	0 ~ +35°C
電 源	AC 100 ~ 240V、50/60Hz
消費電力	280W (待機中消費電力 5W)
寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	298 × 98 × 237mm
質量	3.2kg

* 設計および仕様は事前の予告なしに変更されることがあります。

* LCD パネルは最高標準に合わせて製造されています。有効画素数が 99.99% であっても、放映中 0.01% 以下の画素が動作しない場合がありますが、これは液晶パネルの特性により生じるものです。

リモコン

電池	DC3.0V 単 4 形アルカリ乾電池 2 本使用
作動範囲	約 5m
寸法	108 × 42 × 20mm
質量	40g (電池を除く)

付属品

- リモコン (CXWS) 1個
- リモコン用アルカリ乾電池 2本
- 電源コード 1本
- 電源プラグアダプタ 1個
- コンピュータ用接続ケーブル (D-sub 用) 1本
- キャリングケース 1個
- 取扱説明書
- 保証書
- お客さまご相談窓口一覧

別売品

下記に別売品を示します。ご注文の際は、品名と品番を販売店にお知らせください。

- D-sub/ コンポーネントケーブル : POA-CA-COMPVGA
- RS232C ケーブル : POA-MCSRL02
- 天吊金具用ベース金具 : POA-CHB-WXU10
- 高天井用天吊金具 : POA-CHL-UL01
- 低天井用天吊金具 : POA-CHS-US01

インジケータ表示

プロジェクター の状態	インジケータ				意味
	電源インジケータ		LAMP インジケータ		
	色	状態	色	状態	
スタンバイ	緑	点滅	-	消灯	プロジェクターはスタンバイ状態です。
ランプ点灯前	緑	点灯	-	消灯	電源オン後のランプの点灯前段階です。
電源オン	緑	点灯	緑	点灯	ランプは正常に動作しています。
ランプ動作不良	緑	点灯	赤	点滅	ランプが正常に動作していません。電源オン時の点灯不良と、通常動作状態からランプが消えた場合とインジケータの状態は同じです。
ファンが ロック状態	黄色	点灯	緑	点灯	ファンがロック状態です。ランプが消灯します。
温度上昇	緑	点灯	緑 / 黄	点滅	プロジェクターの内部温度が高くなっています。ランプは消灯し、本機の冷却がはじまります（冷却時間）。
温度上昇 (フィルター)	-	-	-	-	プロジェクターの内部温度が高くなっています。表示されるメッセージに従って、フィルターを掃除してください。
	緑	点灯	緑 / 黄	点滅	プロジェクターの内部温度がさらに高くなっています。警告メッセージが表示され、ランプは消灯し、本機の冷却がはじまります。フィルターを掃除してください。
冷却中	緑	点灯	緑	点滅	本機を冷却中です。
ランプ寿命	緑	点灯	緑 / 赤	点滅	ランプ交換推奨時間が既に経過しました。速やかにランプを交換してください。

対応信号一覧表

コンピュータ (COMPUTER IN/DVI-D IN 端子)

モード	解像度	fH (kHz)	fV (Hz)
VGA mode 3	640 × 480	31.469	59.940
VGA VESA 72Hz		37.861	72.809
VGA VESA 75Hz		37.500	75.000
VGA VESA 85Hz		43.269	85.008
SVGA VESA 56Hz	800 × 600	35.156	56.250
SVGA VESA 60Hz		37.879	60.317
SVGA VESA 72Hz		48.077	72.188
SVGA VESA 75Hz		46.875	75.000
SVGA VESA 85Hz		53.674	85.061
XGA VESA 60Hz	1024 × 768	48.363	60.004
XGA VESA 70Hz		56.476	70.069
XGA VESA 75Hz		60.023	75.029
XGA VESA 85Hz		68.677	84.997
SXGA VESA 70Hz	1152 × 864	63.995	70.016
SXGA VESA 75Hz		67.500	75.000
SXGA VESA 85Hz		77.487	85.057
SXGA VESA 60Hz	1280 × 960	60.000	60.000
SXGA VESA 75Hz		75.000	75.000
SXGA VESA 60Hz	1280 × 1024	63.981	60.020
WXGA VESA 60Hz	1280 × 768	47.776	59.870
WXGA VESA 75Hz		60.289	74.893
WXGA VESA 85Hz		68.633	84.837
WXGA VESA 60Hz	1280 × 800	49.306	59.910
WXGA VESA 60Hz		49.702	59.810
WXGA VESA 75Hz		62.795	74.934
WXGA VESA 85Hz		71.554	84.880

ビデオ (COMPONENT IN 端子)

信号	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
480i	15.8	60
480p	31.5	60
576i	15.6	50
576p	31.3	50
720p	45.0	60
1080i	33.8	60
1080i	28.1	50

故障かなと思ったら

本機の修理を依頼される前に、次の表に示す症状と対応策を参照してください。
 トラブルが解消しない場合は、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にご連絡ください。「インジケータ表示」の項も参照してください。

症状	原因	対応策
電源が入らない	電源コードが接続されていません。	電源コードを接続してください。
	ランプカバーが緩んでいます。	ランプカバーのネジを締めます。
使用中に電源が切れる	プロジェクターの内部温度が高くなっています。	電源コードを外し、しばらくたってから電源を入れ直します。
	排気口がふさがれています。	排気口がふさがれない場所にプロジェクターを置いてください。
画像が出ない	プロジェクターの電源が入っていません。	プロジェクターの電源を入れてください。
	接続が正しく行われていません。	接続が正しく行われていることを確認します。
	接続されている装置が正しく機能していません。	接続されているすべての装置が正しく機能していることを確認します。
	レンズキャップが付いたままです。	レンズキャップを外し、プロジェクターの電源を入れてください。
	NO SHOW 機能が有効になっています。	NO SHOW 機能をキャンセルしてください。(p. 19)
画像が正常に表示されない	プロジェクターがサポートしない入力信号が入力されています。	本体の操作パネルまたはリモコンの[AUTO PC] ボタンを押します。(p. 17、19、32)
画像がちらつく	画面の信号タイミングとコンピュータのグラフィックカードの信号タイミングが同期していません。	トラッキングを調整してください。「映像」の項を参照してください。(p. 30)
画像にちらつく垂直バーがある	表示データの周波数が、コンピュータのグラフィックカードの周波数と一致していない。	総ドット数を調整してください。「映像」の項を参照してください。(p. 30)
		グラフィックカードの表示モードを調べ、本機に対応するように再設定してください。
画像のピントがずれる	レンズフォーカスが正しく調整されていません。	フォーカスリングによりフォーカスを調整します。(p. 26)
	プロジェクターがサポートしない範囲にスクリーンが配置されています。	プロジェクターをサポート範囲に移動してください。(p. 27)

症状	原因	対応策
リモコンで操作できない	電池が切れています。	新しい電池と交換してください。 (p. 20)
	極性が間違っています。	正しい極性で電池を入れ直してください。 (p. 20)
	リモコンが作動範囲外で使用されています。	有効範囲内で使用してください。 (p. 21)
	リモコンとプロジェクターの間に障害物があります。	リモコンとプロジェクターの間に障害物がないか確認してください。
	プロジェクターのリモコン受信部に蛍光灯や他の強い光が入り込んでいます。	プロジェクターのリモコン受信部に蛍光灯や他の強い光が入り込んでいないか確認してください。

シリアル制御機能

本機には、RS-232C シリアルポートを使用して本体の動作を制御する機能があります。

■ 接続および操作

1. 別売品の RS-232C シリアルケーブルを本機の RS-232C ポートと PC のシリアルポートに接続します。
2. PC にインストールされている通信ソフトウェアを起動し、通信条件を右のように設定します。
3. プロジェクターを制御するために、HEX キー (0 ~ 9, a ~ f) でコマンド文字列を送信します。

通信速度	: 19200 bps
パリティチェック	: なし
ストップビット	: 1
フロー制御	: なし
データビット	: 8

■ コマンドフォーマット

PC からプロジェクターへのコマンドは、次の表に示すフォーマットで送信されます。プロジェクターは、コマンドをデコードし 'ACK' = '06' を返します。

次の表に、プロジェクターを制御するための一般的なコマンドを示します。その他のコマンドの詳細は、最寄りの販売店にお尋ねください。

コマンド	コマンド文字列 (Hex)												
Power ON	BE	EF	10	05	00	C6	FF	11	11	01	00	01	00
Power OFF	BE	EF	02	06	00	57	D0	2E	00	00	00	00	00
Menu	BE	EF	02	06	00	C8	D7	01	00	00	00	00	00
▲ UP	BE	EF	02	06	00	FB	D7	02	00	00	00	00	00
▼ Down	BE	EF	02	06	00	2A	D6	03	00	00	00	00	00
◀ Left	BE	EF	02	06	00	9D	D7	04	00	00	00	00	00
▶ Right	BE	EF	02	06	00	4C	D6	05	00	00	00	00	00
Input	BE	EF	02	06	00	7F	D6	06	00	00	00	00	00
Auto PC Adj.	BE	EF	02	06	00	58	D5	11	00	00	00	00	00
Mute	BE	EF	02	06	00	51	D7	08	00	00	00	00	00
Keystone UP	BE	EF	02	06	00	E0	D1	29	00	00	00	00	00
Keystone DOWN	BE	EF	02	06	00	D3	D1	2A	00	00	00	00	00
Volume UP	BE	EF	02	06	00	62	D7	0B	00	00	00	00	00
Volume DOWN	BE	EF	02	06	00	D5	D6	0C	00	00	00	00	00
NO Show	BE	EF	02	06	00	CE	D0	27	00	00	00	00	00
Freeze	BE	EF	02	06	00	02	D0	2B	00	00	00	00	00
Aspect	BE	EF	02	06	00	31	D0	28	00	00	00	00	00
Select Computer (Analog)	BE	EF	02	06	00	0B	D2	32	00	00	00	00	00
Select Component	BE	EF	02	06	00	DA	D3	33	00	00	00	00	00
Select S-Video	BE	EF	02	06	00	6D	D2	34	00	00	00	00	00
Select Video	BE	EF	02	06	00	BC	D3	35	00	00	00	00	00
Select Computer (Digital)	BE	EF	02	06	00	8F	D3	36	00	00	00	00	00

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。
(ただし、ランプは 6 ヶ月です)

■保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間の過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

■修理を依頼される前に

「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでもなおらない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

ご転居やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がありましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検

● 長年で使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。



このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- その他異常や故障がある。



ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客さまメモ

品番	LP-WXU10
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	
最寄りのお客さま ご相談窓口	

三洋電機株式会社

D I カンパニー

プロジェクター事業部

販売企画部 国内販売課

〒 574 - 8534 大阪府大東市三洋町 1 - 1

1AA6P1P5493-- (KJ3C)